



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2008 - 2009 年度 RI 会長 李 東建 (リ トンカン)

魚津 R.C 会長 大村 雅紹

第 2670 回 例会報告

2009 年 3 月 6 日

ゲスト並びにビジター紹介 ゲスト 稲村 修氏(魚津水族館 学芸員) ビジター なし
米山奨学生 リー・ホー君

誕生祝 3月6日 大島夫人 今ほどは、家内ヒロミの誕生日を祝って頂きましてありがとうございます。昭和52年11月に結婚しました。皆様方、奥様を大事にされていますが私の場合は闘っております。気性の激しい二人ですが30年余り経ちました。あと何年か出来るだけ穏やかに過したいと思っております。

3月16日 関口 孝子さん 今日誕生日を祝って頂きましてありがとうございます。今年で62歳になります。2年半前はいろいろあり、私はお子様を守る事だけが続けてきました。ある先生は「人生はリズム」とおっしゃいまして、きっと良い事があると思っていたのですが、すべて解決しました。その上に、約400の幼稚園、保育園の中から大学の講師として選ばれました。マスコミのおかげだと思っております。



会長挨拶 大村会長 皆さんこんにちは。稲村さん、リーホーさんようこそお出で頂きました。ごゆっくりして行って下さい。いよいよ3月に入りまして暖かい冬で、春を迎える感じです。ソメイヨシノの開花は例年は4月8日頃ですが今年は4～5日早く咲くとの予想です。先週の例会で根岸さんから説明がありましたが、先日、第一分区の会長会議があり今年度はカナダから5名お迎えします。2610地区は4月1日から4月一杯で、この分区は当クラブ、魚津西、滑川の各クラブで4月23日～25日のお昼まで迎えることに決まり、これから計画を練りますが皆様にもよろしく願います。今日は、固いつぼみですが「ヒューガミズキ」を持ってきました。もうまもなく薄い黄色の花が咲いてくれます。

奨学生 リー・ホー君 皆さんこんにちは。奨学金を頂きありがとうございました。先週の土曜日、富山のホテルでロータリー奨学生の歓送迎会があり参加をしてきました。その時感じたのですが、私も一年経ち、この間スムーズに生活が出来ました。これは皆さんのおかげです。私が奨学金を貰うのは2年間の予定です。だから今年もよろしく願います。



幹事報告 黒部RC、黒部中央RC 3月度の例会案内です。

魚津市民ゴルフ協会 4月29日市民ゴルフ大会の案内が来ています。

来週の例会 5クラブ合同例会です。出発はサンルート裏と電鉄魚津でいずれも18:00です。

出席報告 第2670回 出席者：30名 出席率：88% 第2668回 メイキャップ：なし
出席率：85.2%変わらず 3月号の報告：第一分区ではとりあえず 89.7%でトップです。

ニコニコボックス 中島さん 今月のSAAと知らず遅れてすみません。関口さん 姪の花岡モエさんが大回転スキーで日本一になりました。野澤さん ゲスト卓話、稲村さん楽しみです。松田さん なんとなく忙しくなってきました。地産自消を期待です。寺崎さん 月初めです。今月もニコボックスよろしく。

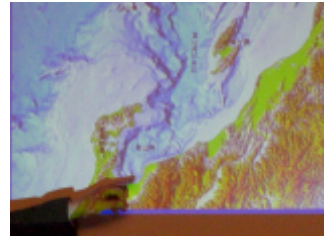
委員会報告など 広報委員会 谷委員長 「ロータリーの友」の紹介。横書き：14ページに次年度R I 会長の抱負「ロータリーをロータリーアンに返したい」があります。縦書き：2ページに日本の教育に欠けているもの「人材育成」があります。巻頭末に各RCの例会案内があります。有効利用しましょう。

本日の卓話 稲村 修さん（魚津水族館 研究係長）・・・【魚津の魚を考える】



いつもお世話になりありがとうございます。魚津水族館がこの3月で28年になります。私もアルバイトで始めて今の水族館とほぼ一緒の期間です。水族館は今修復中で今週末から魚を入れますが、改めて小さい魚から育てて行きますので大きくなるまで3～5年かかります。

今日は、万両さんから話を頂き、魚津の魚と言う事ですが、まずは水の話から進めます。日本海の真ん中に富山と名前の付いた富山深海峡谷があり富山湾の中まで来ています。高い山があって急に岸から深くなっているこの地形が重要なのです。300mより浅いところに対馬暖流と言う暖かい水が来ており、深いところには深層水という冷たくて栄養が多くて菌の少ない水の塊まりがあります。水の温度が違うので住んでいる魚も違います。温かい水は赤道、冷たい水はウラジオストックから来て、冷たい風で水が冷やされ重くなり100年とか時間をかけて富山湾に来ます。最近は温暖化で水が沈まずに酸素が表面に残り深海の生物は生きていけなくなる様な事が起きており心配されています。富山湾は北アルプスや立山連峰の3000m、富山湾は水深1000mで高低差が大体4000mあります。魚津の地形の特徴は平野部が少なく下に下流域がないので早月川も片貝川も滝なのです。こういう地形は世界でも珍しく世界の縮図が富山湾にありさらにその縮図が魚津にあります。



水族館が最初に来たのは大正2年で「北アルプスの溪流から日本海の深海まで」のテーマでした。平成25年で100周年になります。最近の目玉は富山の魚に変わって来ており、今のテーマは「富山の淡水魚と魚」ですが、日本・世界の魚も展示しています。日本で一番高い所にいる魚が黒部川上流の「イワナ」ですが魚津では海のすぐそこにいます。「ヤマメ」と言う魚は寿命が3年程ですが、一年間だけ海に出て帰って来るのが「サクラマス」です。もともとこれを使って鱈寿司を作っていました。「アユ」は毛針を使うのは今では富山、石川と高知の方だけですが面白くて陰険なつりです。釣れるのは良い釣り針だけで優越感を持つ訳で、これを教えないのです。ルールでもあります。

海の魚ですが「マイワシ」は今いません。高級魚です。昔から100年とかで増えたり減ったりしています。魚津の「オキノジョロウ」と言えば田楽です。魚津町史にも載っており、こういう伝統的な食べ方を復活させたいと思っています。最近、有名なのが「サワラ」で大量に取れ弁当のおかず最適です。「ニギス」もおいしい魚で、塩焼きや干物とか全国に広めてほしいものです。宮崎のタラ汁は有名ですが、「スケトウダラ」でないとおいしくありません。「ゲンゲ」のてんぷらを日本で始めて作ったのは某店だそうで、最近女性に喜ばれておりカラーゲンが良いと言う事です。富山県で取れる「バイ」は「加賀バイ」と言いますが「越中バイ」に...と言う話もあります。「甘エビ」は石川県、新潟県でも同じものが取れますが沿岸近くのものおいしいです。甘エビの殻をつけて干したものが「弁慶エビ」で魚津の伝統的なものです。これが復活されました。時間が経つと皮がむけ易くなり、これが「サンゴエビ」です。「ベニズワイガニ」は魚津の方がカゴを作ったのです。カゴは網の目の大きさを変えられるので自然保護の面でも見直されています。最近「カワハギ」をブランド化しました。

・・・と言うことで、富山の環境は多様です。今後、必要な事は情報発信です。情報を知り相手に伝える事です。表に出して行くことが必要であり新しいものを生み出して行く事が大切です。 【以上】